

# 進路指導室へようこそ

前橋女子高校進路指導部

令和5年度 MJ 進路通信 第46号

令和6年3月18日(月)発行

## ■合格体験談が行われました

卒業生10名を講師に招き、合格体験談講演を行いました。努力を重ねて見事第一志望校への合格を勝ち取った先輩方の経験は、1・2年生の皆さんにも大きな支えになると思います。先輩方に話していただいた内容すべてを紹介することはできませんが、各先輩方に「一番伝えたいこと」を簡潔にまとめてもらいました。後輩への温かいメッセージとして受け取ってください。



講師の卒業生の皆さん

### W. Aさん (大阪大学法学部)

前女の素晴らしい先生方に、困ったらすぐ相談しましょう!!

### A. Sさん (大阪大学外国語学部)

早いうちから調べて行動を!!

### I. Hさん (早稲田大学商学部)

強い気持ちをもとう!

### S. Mさん (慶応義塾大学文学部)

量をこなして復習をしっかりとってください!

### S. Sさん (筑波大学人文・文化学群比較文化学類)

だんだん焦りとか不安が出てくるかもしれませんが、先生を頼って、自分を信じて頑張ってください!!

### H. Aさん (群馬大学医学部)

学校での学習を中心に、体調に気を付けて頑張ってください

### M. Mさん (群馬大学教育学部)

苦手な教科の勉強を後回しにしないこと!!

睡眠時間は削らないこと!!

### K. Cさん (大阪公立大学看護学部)

小テストなど学校のやるべきことをしっかりやって目標に向かって頑張ってください!

### S. Yさん (信州大学農学部)

自分のことを一番知っているのは自分なので、自分が正しいと思った行動を!!

### Y. Kさん (東北大学医学部医学科)

推薦、共テで失敗しても、最後まで諦めずに貫くことが大切です。



## ■後期入試は、実はチャンスが潜んでいる

12日から後期日程入試が行われました。後期日程は、前期で合格できなかった受験生が挑む(一部後期日程のみ試験を行う大学もあります)、国公立大へのラストチャンスといえます。その性質上、敗者復活戦的なイメージがあり、また公表される志願倍率がどこも高倍率のため、どうしても悲壮感漂う受験に見られがちです。ですが、後期日程は国公立大学を希望する受験生にとっては意外とチャンスが多い、というのも事実です。

| 区分 | 試験実施大学・学部等数  |              | 欠席率(%)      |
|----|--------------|--------------|-------------|
| 国立 | (69大学)       | (265学部)      | (62.7)      |
|    | <b>69大学</b>  | <b>268学部</b> | <b>63.5</b> |
| 公立 | (60大学)       | (122学部)      | (64.8)      |
|    | <b>61大学</b>  | <b>123学部</b> | <b>64.3</b> |
| 計  | (129大学)      | (387学部)      | (63.2)      |
|    | <b>130大学</b> | <b>391学部</b> | <b>63.7</b> |

上の表は、後期日程の欠席率を表したものです。出願したものの前期で合格した人や、私大進学を決めた人は当然受験しませんから見た目以上に倍率が低いのが後期日程です(実際に受験したら席がスカスカだったという声を毎年聞きます)。進学先を決めた人が新しい生活の準備をする姿を見ながらの受験は、確かに辛いですが、それでも最後まで頑張っていれば大きなチャンスが残っているのです。国公立大の優先度が高い人は、第一志望校に加え、後期日程をどうするか、ということも考えながら受験計画を立てることになります。